

## 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

庄原市教育委員会  
教育指導課

- 実施日 令和5年4月18日（火）
- 対象学年 小学校第6学年及び中学校第3学年

### 調査実施教科の平均正答率（％）

※県及び市の平均正答率については、小数点以下は公表されていない。

		庄原市	広島県	全国
小学校	国語	70	69	67.2
	算数	62	64	62.5
中学校	国語	73	70	69.8
	数学	48	49	51.0
	英語	42	43	45.6

#### ○ 国語の結果

小学校の国語においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を3ポイント程度上回っている。

中学校の国語においては、県平均正答率及び全国平均正答率を3ポイント以上上回っている。

#### ○ 算数・数学の結果

小学校の算数においては、県平均正答率を2ポイント下回っているが、全国平均正答率と同程度である。

中学校の数学においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を3ポイント下回っている。

#### ○ 英語の結果

中学校の英語においては、県平均正答率を1ポイント、全国平均正答率を4ポイント程度下回っている。

県平均・全国平均との比較（領域等別）

▲は県平均正答率未満、△は全国平均正答率未満、

▲△は県平均・全国平均正答率未満、

下線は平均正答率 50%未満

〔小学校第6学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.2	72.6	71.2
		情報の使い方に関する事項	▲62.5	63.9	63.4
		我が国の言語文化に関する事項	—	—	—
	思考力、 判断力、 表現力等	話すこと・聞くこと	77.4	75.1	72.6
		書くこと	<u>32.6</u>	<u>29.0</u>	<u>26.7</u>
		読むこと	75.3	73.3	71.2
問題形式	選択式	75.8	75.2	73.6	
	短答式	63.8	63.1	62.7	
	記述式	58.9	54.1	51.1	

〔小学校第6学年・算数〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の 領域	数と計算	▲65.0	68.1	67.3	
	図形	▲ <u>47.9</u>	<u>49.3</u>	<u>48.2</u>	
	測定	—	—	—	
	変化と関係	▲69.7	71.4	70.9	
	データの活用	69.1	67.7	65.5	
問題形式	選択式	▲57.8	59.2	57.7	
	短答式	▲ <u>73.8</u>	75.4	74.7	
	記述式	▲ <u>47.9</u>	<u>48.6</u>	<u>47.3</u>	

— 小学校の結果の概要（領域・問題形式別） —

（国語）

「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率が、県平均・全国平均正答率を下回っている。

（算数）

「データの活用」の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「数と計算」「図形」「変化と関係」の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を下回っており、課題が見られる。

「短答式」の問題について、平均正答率が県平均・全国平均正答率を下回っている。

〔中学校第3学年・国語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	△66.6	65.5	67.5
		情報の使い方に関する事項	68.4	64.0	63.4
		我が国の言語文化に関する事項	80.3	75.1	74.7
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	84.6	83.4	82.2
		書くこと	66.1	63.2	63.2
		読むこと	68.2	64.9	63.7
問題形式	選択式	△72.9	72.9	73.1	
	短答式	70.0	64.4	65.6	
	記述式	75.9	70.5	68.0	

〔中学校第3学年・数学〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の領域	数と式	▲61.1	61.4	63.0	
	図形	▲24.9	31.1	33.2	
	関数	52.0	50.4	51.2	
	データの活用	▲44.7	46.6	48.5	
問題形式	選択式	▲35.9	42.3	45.3	
	短答式	▲59.2	60.9	62.6	
	記述式	44.6	41.4	41.6	

〔中学校第3学年・英語〕

分類		区分	庄原市	広島県	全国
学習指導要領の区分・領域	聞くこと	△55.9	55.1	58.4	
	読むこと	▲47.7	50.1	51.2	
	話すこと [やり取り]	17.5	14.3	14.5	
	話すこと [発表]	4.7	3.9	4.2	
	書くこと	▲20.0	20.3	23.4	
問題形式	選択式	▲51.8	52.6	54.8	
	短答式	▲23.8	25.5	30.1	
	記述式	14.4	12.5	13.5	

※ [英語「話すこと」] について、「広島県」の値は、4/18～5/26 に広島県内の公立の当日実施校・期間内実施校が実施した調査の結果を集計されたもの。「全国」の値は、4/18 に全国の国公私立の当日実施校が実施した調査の結果を、実施状況等を考慮した統計的補正をかけ、全国値として推定されたもの。

－中学校の結果の概要（領域・問題形式別）－

（国語）

「情報の使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域の平均正答率が、県平均正答率を下回っている。

（数学）

「関数」の領域の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「数と式」「データの活用」の領域の平均正答率が、県平均正答率、全国平均正答率を下回っており、課題が見られる。

「図形」の領域の平均正答率が約 25%であり、県平均正答率を 6 ポイント程度、全国平均正答率を 8 ポイント程度下回っており、大きな課題が見られる。

（英語）

「話すこと [やり取り]」と「話すこと [発表]」の領域の平均正答率は、県平均・全国平均正答率を上回っている。

「聞くこと」の領域の平均正答率が、県平均正答率を上回っているが、全国平均正答率を 2 ポイント程度下回っており、課題が見られる。

「読むこと」「書くこと」の領域の平均正答率が、50%を下回り、県平均・全国平均正答率を下回っており、課題が見られる。

令和5年度全国学力・学習状況調査における成果と課題

1 各調査問題における無解答率の平均 (％)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	1.8	3.9	4.8	国語	2.1	3.9	4.6
算数	2.1	2.6	3.4	数学	5.7	8.5	9.6
				英語	2.4	5.1	5.7

※「英語 [話すこと]」の調査結果は除いたもの

2 各調査問題における正答率 40%未満の児童生徒の割合 (％)

小学校	庄原市	広島県	全国	中学校	庄原市	広島県	全国
国語	9.7	9.8	11.1	国語	6.5	9.8	10.4
算数	16.5	17.7	19.5	数学	35.5	34.6	32.8
				英語	46.8	48.7	44.9

※「英語 [話すこと]」の調査結果は除いたもの

3 各調査における成果 (○) と課題 (●)

小学校国語

○送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと。

文章中の語句 (くらべて) を、送り仮名に気を付けて書き直したものとして適切なものを選択する問題【大問1設問3(2)】95.3%

○目標を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。

【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する問題【大問2設問1】91.9%

●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く問題【大問1設問2】32.6%

●情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する問題【大問2設問3】54.2%

中学校国語

○聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること。

インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く問題【大問1設問4】91.2%

○事象や行為、心情を表す語句について理解すること。

「落胆する」の意味として適切なものを選択する問題【大問2設問1】90.8%

●文脈に即して漢字を正しく書くこと。

漢字 (おし量って) を書く問題【大問3設問2】42.4%

小学校算数

○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること。

5脚の椅子を重ねたときの高さを求める問題  
【大問1設問(1)】93.2%

○正方形の意味や性質について理解すること。

テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く問題

【大問2設問(2)】93.2%

●高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。

テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く問題 【大問2設問(4)】14.8%

●百分率で表された割合について理解すること。

示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題

【大問4設問(1)】38.1%

中学校数学

○問題場面における考察の対象を明確に捉えること。

はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める問題 【大問6設問(1)】87.1%

●空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解すること。

空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ問題

【大問3】16.1%

●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。

2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する問題  
【大問9設問(1)】26.7%

中学校英語

○情報を正確に聞き取ること。

ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

【大問1設問(1)】75.5%

●疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができること。

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題

【大問9設問(1)②】18.1%

●日常的な話題について、事実や自分の考え等を整理し、まとまりのある文章を書くことができること。

学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く問題

【大問10】5.1%